

(別紙)納品媒体ラベル作成例

1. 共通事項

「電子納品ラベル」の受注者記名欄、発注者記名欄に必ず署名または記名すること。記名の方法は署名、記名のいずれでも可とする。なお、「電子納品ラベル」に受発注者ともに署名した場合は様式1「電子媒体納品書」に代えることが出来る。なお、電子納品ラベルに署名がなされていない場合は様式1「電子媒体納品書」を提出すること。

記載内容は下記を参考とし、記載すべき情報が読み取ることが出来れば、文字の配置、大きさ、情報の分割、貼り付け位置等は変更しても良い。

2. CD-ROM、DVD等の場合

下記を参考にラベルを作成、CD-ROM、DVDに印刷する。



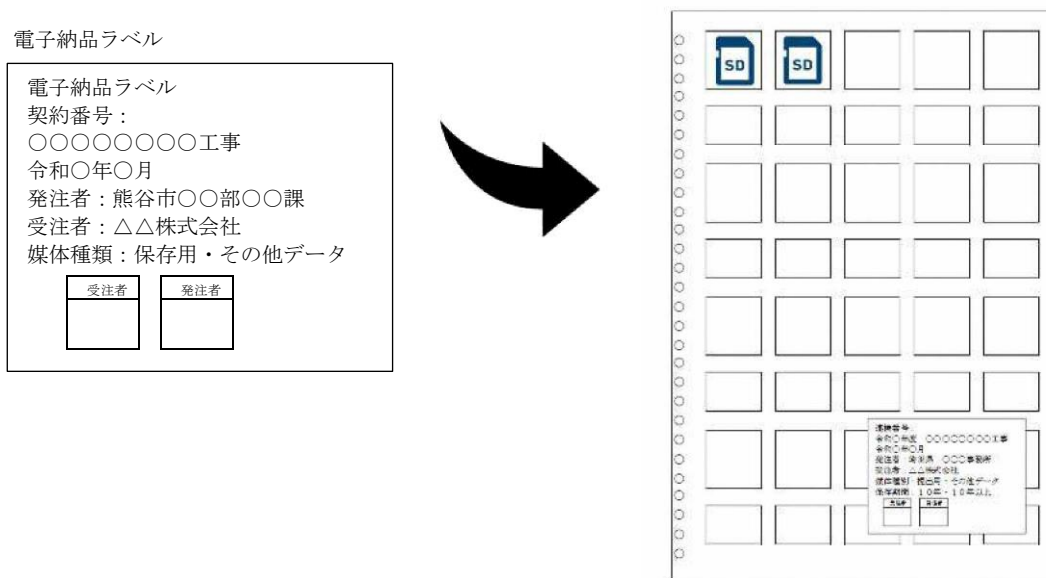
3. SDカードの場合

SDカードは「標準SDカード」を原則とし、市販のSDカード用ジャケットに収めて納品すること。microSDを納品媒体とする場合は、紛失防止のためSDカードアダプターに収めること。なお、SDHC、SDXC、SDUCの規格は問わない。

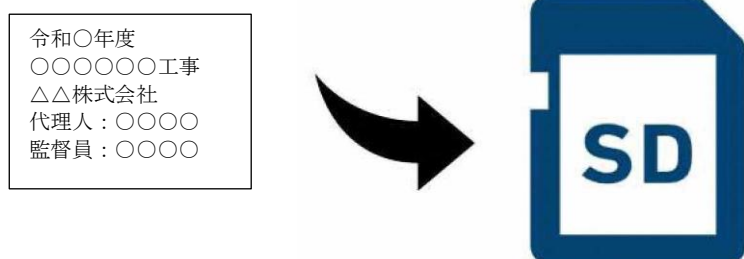
ラベルは下記を参考に、ジャケット(SDファイルシート等の名称)およびSDカードにそれぞれ貼り付ける。ジャケットはシートタイプのA4サイズを基本とし、紙ファイル等に綴じて提出すること。なお、A4サイズ程度のハードカバー付きジャケットに収める場合は紙ファイルに綴じる必要はない。

SDカードには一般に市販されているSDカード用シールに発注年度、工事件名の略称（識別できる内容なら省略方法は問わない）、代理人名、監督員名を記名し、SDカード本体に貼り付ける。

なお、USBメモリの場合もSDカードに準じて納品すること。



SDカード用 ※市販のラベルを参考にする



SDカード用ラベルは紛失防止の観点で貼付けするものであり、受注者および発注者は記名とし、署名の必要はない。USB等ラベルの貼付けが困難な場合は、油性ペンによる通し番号をUSB本体および提出用ジャケットに記載することも可とする。

SDカード用ラベルは紛失防止の観点で貼付けするものであり、受注者および発注者は記名とし、署名の必要はない。USB等ラベルの貼付けが困難な場合は、油性ペンによる通し番号をUSB本体および提出用ジャケットに記載することも可とする。

4. HDD、SSD等の場合

下記を参考にラベルを作成、HDD等の本体に貼りつけする。媒体の表面にラベルの貼付けが

困難な場合は、油性ペンを用いてラベルと同等の内容を記載してもよい。この場合、受注者および発注者の署名がある場合は様式1「電子媒体納品書」に代えることが出来る。

電子納品ラベル

電子納品ラベル	
契約番号：	
〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事	
令和〇年〇月	
発注者：熊谷市〇〇部〇〇課	
受注者：△△株式会社	
媒体種類：保存用・その他データ	
受注者	発注者

